



**エネ×そばナイトフェスタ
～エネルギーと食の地産地消～**

10/21

杉並木公園で日光青年会議所10月例会の「エネ×そばナイトフェスタ」が開催されました。今市小学校児童作成の灯籠や水力発電・EVのエネルギーによる



光に照らされた会場

ライトアップ、日光手打ちそばの会による新そばの振る舞いに合わせたクイズウォークラリーには今市工業高校も協力し、賑わいを見せました。

シルバー人材センター奉仕作業

10/30

提供：日光市シルバー人材センター

地域貢献事業の一環として、元気な高齢者がごみ拾いや除草作業といった自分たちのできる奉仕活動を行うことで、高齢者が地域の担い手であることを再認識



グランドゴルフ場でごみ拾い

する取り組みを行っています。参加者は、「地域環境の向上に貢献でき、シルバー人材センターの存在をアピールできた」と話しました。

**市交通指導員連絡協議会からの
寄贈**

11/1

日光市交通指導員連絡協議会から、交通安全用クリアファイルの寄贈があり、鈴木栄司会長から粉川市長に手渡されました。寄贈されたクリアファイルは、小学6年生を対象にした自転車交通安全教室などで配布



鈴木栄司会長(左)

されました。

交通安全のさらなる普及・啓発のために活用されます。

**「燃ゆる感動かごしま大会」結果
報告会**

11/7

10月に鹿児島県で開催された特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に出場した吉原未来さん、村上義之介さんが市役所を訪れ、大会



村上義之介さん(左)と吉原未来さん(右)

の結果報告を行いました。

それぞれ大会当日を振り返り、日々の練習の成果を存分に発揮できたことを市長へ報告しました。

第6回日光てしごと市

11/11・12

日光だいや川公園で、第6回日光てしごと市が開催されました。市内外のクラフト雑貨約40店舗と飲食店5店舗が集結し、日光彫をはじめ、皮革やガラス製



工芸品を手取る来場者

品などの多くの工芸品が並びました。

来場者は、さまざまな種類の工芸品に興味深そうに手に取り、楽しそうに買う物を選んでいました。

湯ノ湖コカナダモ刈り取り作業

11/18

奥日光清流清湖保全協議会は、市民をはじめ日光明峰高校、民間企業など約130人のボランティアが参加し、外来種「コカナダモ」の刈り取りを行いました。



水中から錨で引き上げる地道な作業

作業は湖に向けて錨を投げ込み、水中から引き上げるという手作業で行われ、湖畔に回収されたコカナダモの多さに参加者は驚いていました。

11月に行われたイベントなどについて お知らせします



だいや川公園内の草花を撮影

11月12日(日)・19日(日)、日光写真教室が開催されました。12日には、小学生・高校生の6名が参加し、日光だいや川公園で写真を撮影しました。参加者は公園内を散策し、春に黄緑色の花を咲かせる桜「御衣黄」の説明を受けたり、杉と檜の違いを確かめたりしながら、思い思いに撮影。写真を撮る子ども



真剣な表情で構図を決めます

たちからは笑顔がこぼれました。19日には、撮影した写真のコメントと講評を行いました。子どもたちが見たもの、感じたものを自由に撮影し表現した、個性あふれる写真が並びました。なお、2月23日(金・祝)〜25日(日)に、杉並木公園ギャラリーで、今回撮影した写真を展示します。

日光写真教室〜ふおとふれんず2023〜

全日本女子中学・高校生 アイスホッケー大会

11月18日(土)・19日(日)、日光霧降アイスアリーナ、細尾ドームリンクに全国から11チームが集結し、全20試合が繰り広げられました。

栃木県選抜は予選リーグ第1試合で優勝候補の東京都選抜と対戦。日光中学校3年・小平梅花選手が2ゴールを決めるなど、好ゲームを展開するも惜しくも敗退。続く順位決定戦の結果、5位を獲得しました。



会場の大きな声援を受け、ゴールに迫る栃木県選抜の攻撃

にっこう手話ナイト

11月24日(金)、市民活動支援センターで、「にっこう手話ナイト」が開催されました。市内外から参加した39名は、室内では手話のみで会話するルールのもと、グループに分かれ、笑顔で会話を楽しみました。

主催した竹澤さんは「きこえる人・きこえない人の垣根なく、手話のみを言語として気軽に交流できる空間をつくり続けたいです」と話してくれました。



手話で談笑する参加者
どのグループも笑顔が絶えません



「一粒も残してはならん!」



山伏に扮した佐藤健太郎さん

11月25日(土)、生岡神社で生岡神社例大祭が4年ぶりに開催されました。地元の小学生が山伏と強力に扮し、山盛りのご飯を大人に食べるよう強要する、子供強飯式が行われました。江戸時代には、輪王寺の僧侶が行っていましたが、戦争による若者不足から、子どもが行うようになりました。強気に扮した菊地晴斗さ

生岡神社例大祭
んは、「難しい言い回しのせりふだけど、練習通りできてホッとしてます」と話してくれました。そのほかにも、無病息災や五穀豊穡を願った御飯食に案内もんや春駒式が行われました。久しぶりの開催とあって、見物客からは、大きな歓声が上がっていました。